

学修について

■グローバル 理工人育成 コース

担当部署
・グローバル
人材育成推進
支援室

グローバル人材育成
推進支援室
Taki Plaza 地下1階

【グローバル理工人育
成コース】
東工大HP
→在学生の方
→在校生向け教育プロ
グラム
→グローバル理工人育
成コース



(参考資料) グローバル理工人育成コースHP
URL: <http://www.ghrd.titech.ac.jp>

●グローバル理工人育成コース初級・中級

本学では、高い国際力を備え、世界で活躍できる人材を育成する「グローバル理工人育成コース」を設けています。系・コースの標準課程における専門力の教育に加え、学士課程4年間で以下の4つのプログラムによる教育を実施しています。当プログラムを通じて、国際意識、英語力・コミュニケーション能力、異文化理解力・チームワーク力、課題発見・解決力、実践的能力の育成を図ります。(修了に必要な単位数は< >内に記載。

() 前は中級, () 内は初級の単位数)

なおグローバル理工人育成コースは3つの段階的なコースで構成されています。初級は中級の準備段階であり、学士課程では中級の修了を目指します。さらに修士課程では上級が設置されており、継続的にコースの履修が可能となっています。

1. 国際意識醸成プログラム< 2 (2) 単位以上 >

『グローバル理工人入門』または『グローバル理工人概論』にて、留学生とのグループワークを通じて、国際的な視点から多面的に考えられる能力、グローバルな活躍への意欲などを養います。

2. 英語力・コミュニケーション力強化プログラム (4 (2) 単位以上)

海外の大学等で勉学するために必要な、実践的かつ専門的な英語力・コミュニケーション力を養います。本コース修了には当該プログラム対象科目の単位取得と共に、次のいずれかの英語力検定試験の資格取得が必要です (TOEFL iBT 80 (72) 点以上・TOEFL ITP 550 (533) 点以上・TOEIC 750 (680) 点以上・IELTS 6.0 (設定なし) 以上・英検準1級 (設定なし) 以上)。※()内は初級。

3. 科学技術を用いた国際協力実践プログラム (8 (4) 単位以上)

本コースで対象としている文系教養科目、専門科目等を修得する事により、①課題発見・解決力 ②異文化理解力 ③チームワーク力を養い、国や文化の違いを越えて協働できる能力、複合的な課題について、制約や条件を考慮しつつ本質を見極めて解決策を提示できる能力を養います。

4. 実践型海外派遣プログラム (1 (1) 単位以上)

各プログラムで養った能力を実践する留学・インターンシップ等に参加します。自らの専門性を基礎として、海外での危機管理も含めて主体的に行動できる能力を養います。

所属手続: 教務webシステムより申請して下さい。

前学期: 4月中旬 後学期: 9月上旬 (予定)

修了判定: 本コースに所属後、所属生は海外留学経験等のコースでの活動について学修ポートフォリオに記入します。さらに修了要件を満たした上で本コースを修了した者は、卒業時にコース修了証が授与されます。

※本コースの詳細はHPを確認して下さい。